

京都コンサートホール大規模改修工事設計業務委託に係る公募型プロポーザル

評価要領

本評価要領は、京都コンサートホール大規模改修工事設計業務の実施にあたり、最適な実施体制の確保及び課題に対する技術提案が可能な企業等を選定するため、その評価の基準を定める。

1 評価基準

評価の項目、配点及び基準は、別表による。なお、提出書類において事実確認ができない場合は配点を行わないことがある。提出書類については「技術提案書等の作成に関する説明書」を参照すること。

2 同種業務について

同種業務とは、日本国内において主たる目的がクラシック音楽の公演に使用されるホール（※1）を有する建築物の新築又は改修工事（※2）の基本及び実施設計業務を受注（※3、※4、※5、※6）した実績とする。

※1 ホールは、次に掲げる(1)又は(2)のいずれかに該当すること。

(1)令和3年4月1日以降に、公益社団法人日本オーケストラ連盟の正会員が公演する定期演奏会の会場として使用されている実績があること。

(2)プロセニウムアーチのないホールであること。ただし、プロセニウムアーチとは、観客席からみて舞台を額縁のように区切る構造物をいう。

※2 改修工事の場合は、ホール内の舞台音響設備、舞台照明設備又は舞台機構設備の改修工事のすべてを含むものに限る。

※3 設計・施工一括発注方式又はPFIにおける実績については、共同企業体又はSPC（以下「共同企業体等」という。）から設計業務について直接業務委託を受注した、又は共同企業体等の構成員として受注した実績に限る。

※4 共同企業体における実績については、代表者又は構成員として受注した実績とする。

※5 受注した実績は、本公募を開始した日の前日までに完了し、供用を開始しているものに限る。

※6 受注した実績は再委託を除く。

(別表)

評価基準

1 第一次審査（書面審査）

【100点】

(1) 設計事務所の評価※¹

【12点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
①所在地	本店の所在地	A 本店所在地が京都市内	4	4
		B 本店所在地が京都市外	0	
②瑕疵担保力	損害賠償保険の加入状況	A 1事故当たりの保険金額が5千万円以上の保険加入	4	4
		B A又はC以外	2	
		C 保険未加入	0	
③業務成績	過去5年間の成績評定平均値※ ²	A 70点以上	4	4
		B 65点以上70点未満	2	
		C 60点以上65点未満	0	
		D 60点未満	-1	

※¹ 共同企業体の場合は、代表者におけるそれぞれの項目において評価を行う。

※² 本評価項目については、平成31年度以降に本市と直接契約（設計変更契約を含まない。）し、令和5年度までに完了した設計業務委託のうち、都市計画局公共建築部が完了検査を実施したものに關する成績評定の平均値について、小数点以下第一位を切り捨て、整数で評価する。ただし、対象となる受注実績がない場合は、C評価相当として取り扱う。

(2) 管理技術者の実績等

【22点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
①業務実績の参考度	同種業務の実績の本業務への参考度	A ホールの固定席※ ³ が1,500席以上	16	16
		B ホールの固定席※ ³ が1,000席以上1,500席未満	10	
		C ホールの固定席※ ³ が500席以上1,000席未満	4	
		D 上記以外	0	
②CPDの取得状況	指定期間内における単位の取得単位数	A 12単位以上	2	2
		B 6単位以上12単位未満	1	
		C 6単位未満	0	

③業務繁忙度	委託期間内に従事する他業務の件数	A 1件以下	4	4
		B 2件	2	
		C 3件以上	0	

※3 オーケストラピットに設置される客席も固定席とする。

(3) 設計担当技術者の実績等

【30点】

ア 建築設計担当技術者

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
① 業務実績の参考度	同種業務の実績の本業務への参考度	A ホールの固定席※4が1,500席以上	6	6
		B ホールの固定席※4が1,000席以上1,500席未満	4	
		C ホールの固定席※4が500席以上1,000席未満	2	
		D 上記以外	0	
② CPDの取得状況	指定期間内における単位の取得単位数	A 12単位以上	2	2
		B 6単位以上12単位未満	1	
		C 6単位未満	0	
③ 業務繁忙度	委託期間内に従事する他業務の件数	A 0件	2	2
		B 1件	1	
		C 2件以上	0	

※4 オーケストラピットに設置される客席も固定席とする。

イ 電気設計担当技術者

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
① 業務実績の参考度	同種業務の実績の本業務への参考度	A ホールの固定席※5が1,500席以上	6	6
		B ホールの固定席※5が1,000席以上1,500席未満	4	
		C ホールの固定席※5が500席以上1,000席未満	2	
		D 上記以外	0	
② CPDの取得状況	指定期間内における単位の取得単位数	A 12単位以上	2	2
		B 6単位以上12単位未満	1	
		C 6単位未満	0	

③ 業務繁忙度	委託期間内に従事する他業務の件数	A 0件	2	2
		B 1件	1	
		C 2件以上	0	

※5 オーケストラピットに設置される客席も固定席とする。

ウ 機械設計担当技術者

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
① 業務実績の参考度	同種業務の実績の本業務への参考度	A ホールの固定席※6が1,500席以上※10	6	6
		B ホールの固定席※6が1,000席以上1,500席未満	4	
		C ホールの固定席※6が500席以上1,000席未満	2	
		D 上記以外	0	
② CPDの取得状況	指定期間内における単位の取得単位数	A 12単位以上	2	2
		B 6単位以上12単位未満	1	
		C 6単位未満	0	
③ 業務繁忙度	委託期間内に従事する他業務の件数	A 0件	2	2
		B 1件	1	
		C 2件以上	0	

※6 オーケストラピットに設置される客席も固定席とする。

(4) 業務実施の方針、体制等

【28点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
業務の実施方針・進め方・体制	・業務の目的、条件、内容の理解度 ・業務実施の手順、工程、工期等の妥当性 ・体制の妥当性（チームの特徴、担当者数、責任の所在等） ・提案の主体性など取組意欲 ・設計業務としての適正なコスト（工事費）管理の手法 ・その他評価に値すべき事項	A 極めて評価できる	28	28
		B 評価できる	21	
		C 普通	14	
		D やや評価できない	7	
		E 評価できない	0	

(5) 見積金額**【8点】**

評価項目	評価基準	配点	満点
見積金額	A= 最低金額 ^{※4} 以上、(最低金額+(概算予定価格-最低金額)×1/5)未満	8	8
	B= (最低金額 ^{※4} +(概算予定価格-最低金額)×1/5)以上、(最低金額+(概算予定価格-最低金額)×2/5)未満	6	
	C= (最低金額 ^{※4} +(概算予定価格-最低金額)×2/5)以上、(最低金額+(概算予定価格-最低金額)×3/5)未満	4	
	D= (最低金額 ^{※4} +(概算予定価格-最低金額)×3/5)以上、(最低金額+(概算予定価格-最低金額)×4/5)未満	2	
	E= (最低金額 ^{※4} +(概算予定価格-最低金額)×4/5)以上、概算予定価格以下	0	

※4 最低金額は、本件プロポーザル参加者から提案があった見積金額のうち一番低い金額とする。
ただし、参加者の提案した見積金額が、概算予定価格から以下に掲げる算出方法により算出した最低価格を下回るときは、当該最低価格を採用する。

最低価格：直接人件費＋特別経費＋技術料等経費×60％＋諸経費×60％(端数処理は行わない)

2 第二次審査（ヒアリング審査）

【100点】

（1）課題に対する技術提案

【84点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
①技術提案ア	・ 業務内容や課題の理解度 ・ 提案の的確性（必要なキーワード、着眼点、問題点、解決方法等が網羅されているか）	A 極めて評価できる	28	28
		B 評価できる	21	
		C 普通	14	
		D やや評価できない	7	
		E 評価できない	0	
②技術提案イ	・ 提案の実現可能性（技術面、コスト面、他の提案内容との整合性など） ・ 提案の説得力（経験や実績等の反映度、工学的知見による裏付けなど） ・ その他評価に値すべき事項（提案に独創性や芸術性等の付加価値がある、有益な代替案の提案や重要な指摘等がある、コスト縮減案に配慮しているなど）	A 極めて評価できる	28	28
		B 評価できる	21	
		C 普通	14	
		D やや評価できない	7	
		E 評価できない	0	
③技術提案ウ		A 極めて評価できる	28	28
		B 評価できる	21	
		C 普通	14	
		D やや評価できない	7	
		E 評価できない	0	

（2）プレゼンテーション能力

【20点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
プレゼンテーション能力	・ 説明が明快 ・ 質疑の受け答えが明快・その他評価に値すべき事項	A 極めて評価できる	16	16
		B 評価できる	12	
		C 普通	8	
		D やや評価できない	4	
		E 評価できない	0	